



CN実現に向けたSBTセミナー (支援事業参加企業成果報告)

森三樹脂株式会社

目次

- 会社概要／排出量の状況／SBT削減目標／短期目標
- 取得を目指した経緯
- 省エネの取組
- 取組の成果
- 現在の取組と今後の取組
- SBT取得の取組を振り返って

森三樹脂株式会社

会社概要

業種：プラスチック部品成型・加工
概要：自動車部品を始め、ガス器具部品、医療機器部品、食品容器等多業種にわたりプラスチック部品の生産をしている。

事業規模 資本金2200万円、売上約2.5億円、従業員数約 2 5 名
対象：本社工場

排出量の状況

Scope1： 6 t-CO2/年
Scope2： 328 t-CO2/年
Scope3：（カテゴリー1） 19,462 t-CO2/年
Scope3：（カテゴリー3） 71 t-CO2/年
（カテゴリー5） 5 t-CO2/年
算定期間：2023年4月～2024年3月

SBT削減目標

2050年までのCO2排出量の実質ゼロ（カーボンニュートラル）に向けて、

- Scope 1 と 2 について（事業活動分）
2023年を基準年として2030年に42%削減を目指す（SBT1.5℃水準）
- Scope 3 について（バリューチェーン分）
今回の算定カテゴリーのほか、他カテゴリーも算定・削減に取り組む

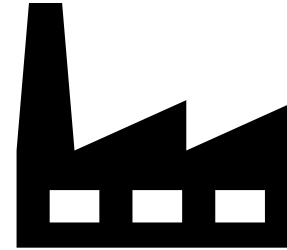
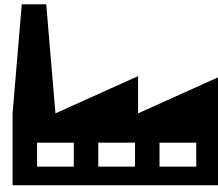
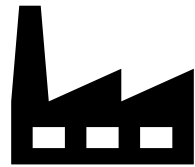
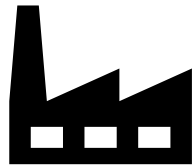
短期目標

2023年を基準年として2025年度～2027年度の3ヵ年における削減策

- 削減量
約80 t-CO2 /3年間 (対 2023年度 24 %)
- 対策
主にScope2における再エネ100%電力、非化石証書などの調達が有効な手段

取得を目指した経緯

主に自動車部品を製造しているサプライヤーチェーンの1社ではあるが規模が小さく競争力の低い会社



どうしたら企業価値が高めれるだろうか

省エネ活動は長年実施

電力のデータもある

2023年度 愛知県の脱炭素経営支援体制構築モデル事業の一環
炭素会計アドバイザーの取得
伴走型省エネ診断を実施 SBTを認識する。

目標をもって省エネ活動を実施している事の証明になる！競争力の1つに

省エネの取組

1999年～省エネの活動を開始

生産時の不良低減活動

無駄な待機電力の停止活動

エア－漏れ点検活動

1999年当時の使用電力

1, 9 4 1, 9 0 6 Kwh

2011年～ デマンドコントロール中心とした省エネ活動を実施。

設備の起動時間をずらすことによる電力ピークの削減等

2012年 すべての設備の電力測定を実施 電力の多い設備のリストUP

2018年 1 0 0 t 新設 硬質樹脂生産の為油圧機から電動機へ更新

2020年 8 0 t 設備を100 t に更新

老朽化した油圧機を電動機に更新

2021年 工場内照明LED化 年間41.57 t のCo2排出量削減の予測

ハイブリットチラー導入・冷却水配管の効率化（冬季のクーリングタワー停止）

2023年 省エネ診断実施

2024年 50 t 成形機を油圧機から電動機に

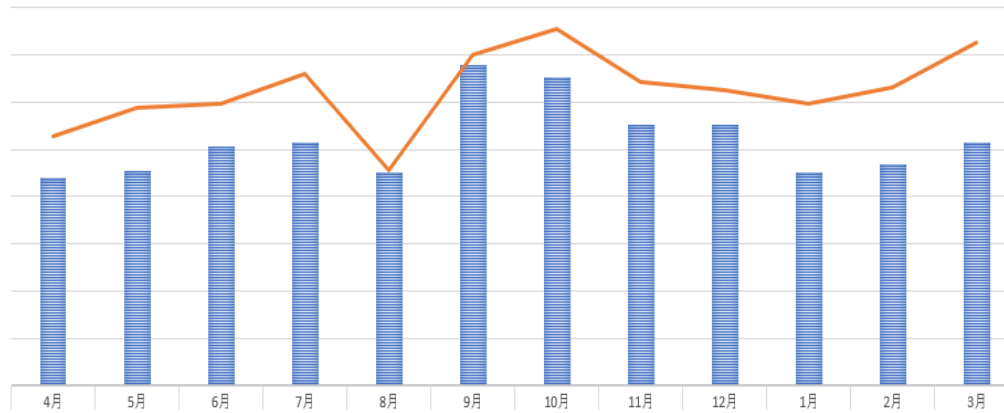
2025年 S B T 取得 350 t 、280 t

取り出し機更新 乾燥機への耐熱塗料塗布

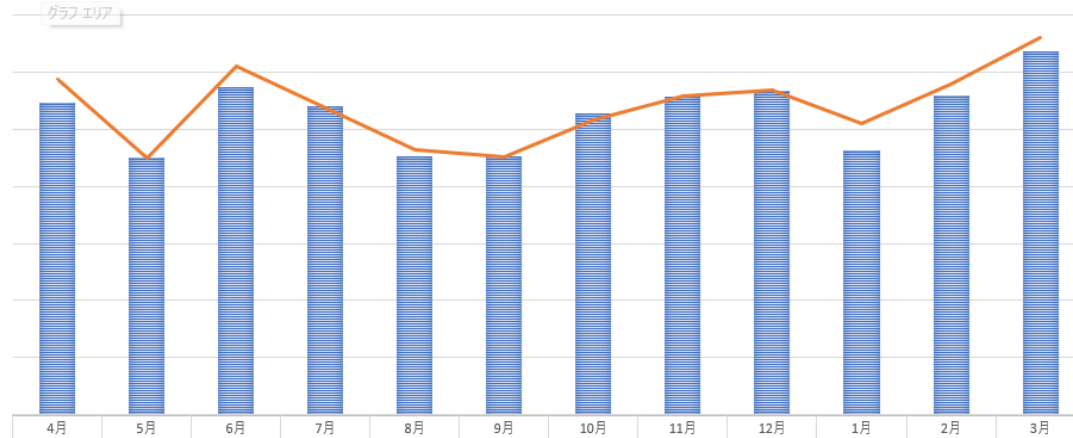
2024年 電力使用量 6 5 4, 4 1 0 Kwh

取組の成果

2019年売上と使用電力



2021年売上と使用電力

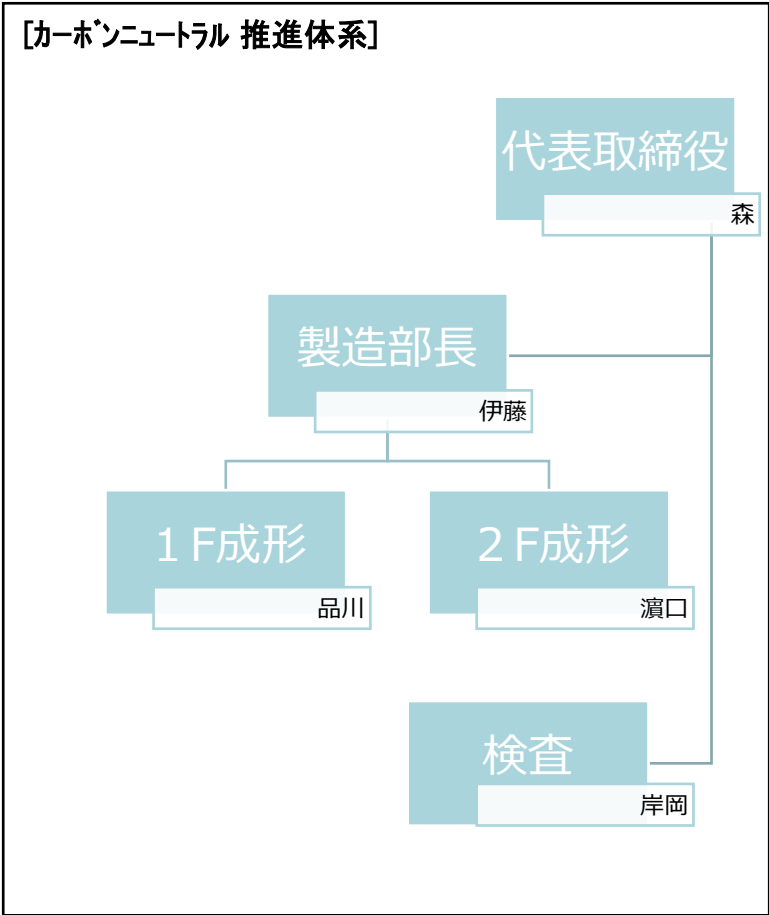


活動の結果、2019年ごろから電力使用量が売上と連動していくようになる

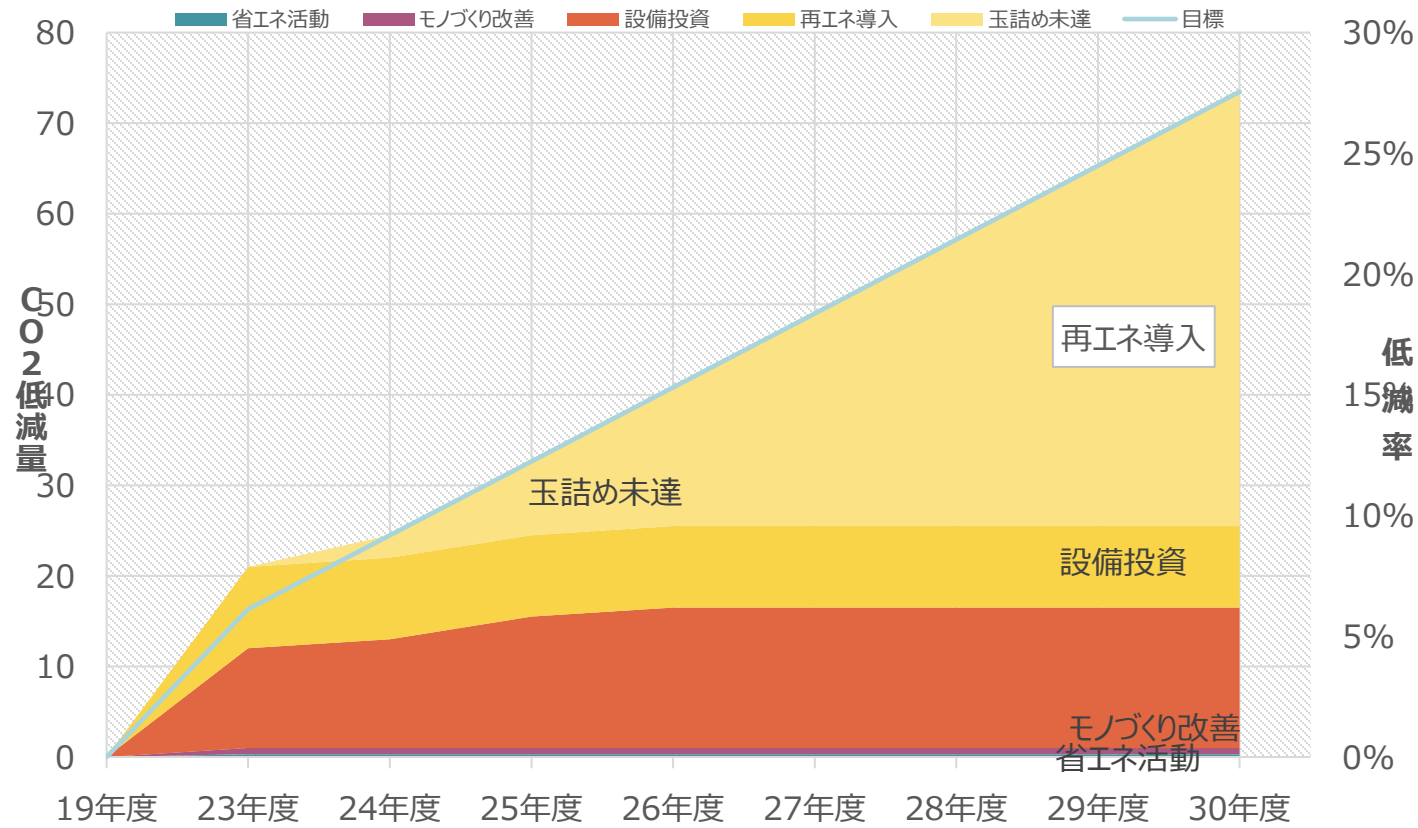
さらに、連動しながらも電力を抑えていけるように改善してきた。

現在の取組と今後の取組

[カーボンニュートラル 推進体系]



CO2低減テーマ構成（実績ベース）



SBT取得の取組を振り返って

- ・排出量算定に向けたデータScope1.2の収集について自社でデーターを長年収集していた為大きな工数はかからなかった
- ・顧客からの情報展開やデーターの収集方法、ロードマップ作成のサポートを得られていた
- ・顧客で実施されているカーボンニュートラルの促進会や委員会に参加し同業他社の取組を共有していただく事で研鑽ができたことで取得後の削減計画等も立てることが出来た。
- ・SBT認証を取得したことを顧客にPRする事が出来た。
- ・協力会社の中で規模の小さい会社であると認識されている当社がSBTを取得できたことは他社への励みになると評価していただいた。
- ・今後の課題と取るべき方法が分かってきた。



SBT取得がゴールではなく、今後の取組のツールとして活用し
カーボンニュートラルの実現を目指します。

サプライヤーチェーンの一員として
貢献していける企業を目指していきたいと思います。

ありがとうございました